

社会資本整備重点計画 フォローアップの取組（案）

（目的）

重点計画のフォローアップは、重点目標を達成するために必要な事業・施策を着実に推進する上での課題を明らかにし、改善策を検討するほか、社会や時代の要請の変化をいち早く捉え、次期計画の策定等へ活用することを目的とする。

（取組内容）

重点計画は、対象とする事業・施策が多岐にわたることから、その全てを計画部会において網羅的かつ詳細に評価するのではなく、効率的かつ効果的に審議を進める必要がある。

このため、平成25年度は、重点計画の策定後の社会資本整備を取り巻く状況の変化を踏まえるとともに、計画策定段階では社会資本の実態把握がなされていなかった等の理由により指標化等が困難であった「重点目標4 社会資本の適確な維持管理・更新を行う」にテーマを絞った上で、試行的に実施することとし、以下の取組を進める。

○ フォローアップは、①与えられた最新の情報に基づき計画性をもって取り組んでいるか、②外的・内的諸条件の変化に対し弾力性・柔軟性をもって取り組んでいるか、③その際、事業・施策を効率的に推進するための取組を行っているか、といった観点から評価を実施することにより、計画の実効性が確保されとの考えに立ち、別紙「評価の進め方と視点の例」を参考に進捗状況等を体系的にとりまとめる。このうち、事業・施策の向かうべき方向性や、事業・施策等の連携面については、重点計画が社会資本整

備に関する総合的かつ分野横断的な計画であるという特徴を鑑み、事例に基づき具体の取組を詳細に分析する等、重点的な評価を行う。

- 各事業・施策の進捗状況の評価は、重点計画の指標やその他データに基づき実施することが重要であることから、別途とりまとめた「社会資本の維持管理・更新に関し当面講ずべき措置」の工程表の取組状況も踏まえつつ、指標のあり方を検討する。

その際、各事業・施策の特性等を踏まえた専門的観点から詳細な議論が必要であるため、既に取り組が行われている政策評価や各分科会等における議論の状況を踏まえた上で、その効率的な議論の進め方を整理する。

なお、社会資本の維持管理・更新については、今後の継続的な取組を通じて施策の深化が図られていくものであることから、人材や技術等、指標化がなじみづらい内容については、関係者の声等も踏まえながら、可能な範囲で評価を行うとともに、施策の具体化等についても検討を加える。

- これらの取組を通じて、評価の進め方や視点等を整理した上で、計画全体のフォローアップを実施することとする。

(別紙) 評価の進め方と視点の例

(1) 事業・施策の進捗状況

計画において設定した指標の達成状況を把握するとともに、指標を定めていない事業・施策についても、可能な限り関連する客観的データの集積や目標レベルの設定を行う。評価は、一体となって効果を発揮する施策単位で実施する。

[評価の視点]

- 指標の実績値や関連する客観的データ等を踏まえ、目標達成に向けて十分な進捗が確認できるか
(例)・過去の実績値のトレンドが、目標達成に向けて順調に推移しているか
- 重点目標の達成に関し、新たに生じた課題への対応が適切に図られているか
(例)・これまでの日常点検・定期点検で把握されていない要対策箇所(施設の劣化・損傷状況)を把握するための対策を講じているか
- 当初工程通り進まない場合に、目標達成に向けた適切な努力を行っているか
(例)・地方自治体の保有する施設の長寿命化計画の策定が進まない場合に、策定率向上に向けた取組を実施しているか
- 前倒し実施が可能かつ適当なものについて、取組が適切に行われているか
(例)・長寿命化計画の策定率向上のため、地方公共団体に対し、財政的支援に加えて技術講習等のソフト対策に十分取り組んでいるか
- 更なる効率的・効果的な実施に向け、民間活用等に積極的に取り組んでいるか
(例)・NPO・ボランティア等との協働による維持管理に取り組んでいるか

(2) 事業・施策間やハード・ソフト間の連携状況

効率的・効果的に政策目標の達成を図るためには、様々な分野の事業・施策を連携して実施することが重要。このため、兼用工作物や相互に機能を補完する施設など、関連する他の事業・施策との一体性、連続性を確保することによって効果を発揮するものについて、取組事例を基に連携面の評価を行う。

[評価の視点]

- 事業完成までの工程を考慮し、関連事業・施策間で着手優先順位の調整を行っているか
(例)・長寿命化計画の策定・見直しに先立って、施設横断的な観点から、既存ストックの維持管理情報の蓄積、点検の実施、基準・マニュアル等の検証を行っているか
- 連携上のボトルネックを明らかにし、解決に向けた取組を進めているか
(例)・計画的な維持管理・更新に必要な管理情報について、施設の特徴を踏まえた上で、データベース化やプラットフォーム化に向け、必要な分野間調整を実施しているか
・管理者間の点検手法や長寿命化計画の策定内容等のばらつき改善に取り組んでいるか

- ハード整備と併せ、その効果を最大限発揮するためのソフト施策を講じているか
 - (例)・施設の劣化・損傷箇所の早期発見に繋がる点検技術の開発・導入をしているか
 - ・受注者・発注者双方の人員、技術力等の不足に対し、人材の確保・育成、入札契約制度の改善等、維持管理体制の充実を図っているか
 - ・維持管理に関する基準等の位置付けの明確化等、法令の整備・見直しに取り組んでいるか

(3) 重点目標全体としての達成状況

(1)、(2) の状況を踏まえ、総合的な観点から評価を行う。

[評価の視点]

- 進捗状況を鑑み、更なる重点化や優先的に推進すべき事業・施策は何か
 - (例)・他の指標に比して著しく進捗が遅れている指標に関連する事業・施策等
- 目標達成のため、更に効率的・効果的な方策は何か
 - (例)・目標達成に資する民間活力の活用のための税制措置や規制緩和等

(4) 中長期的な社会資本整備の方向性

上記の事業・施策の評価を踏まえた上で、社会情勢の変化等を勘案し、中長期的な社会資本整備の方向性について評価を行う。

[評価の視点]

- 新たに盛り込むべき課題認識はないか
 - (例)・維持管理・更新費の推計を踏まえた戦略的な維持管理
 - ・重大事故を踏まえた分野横断的な老朽化対策等
- それに対応した社会資本の中長期的な方向性はどうあるべきか

(5) 今後の重点計画のあり方

上記の評価や地方重点方針のフォローアップ等の取組を通じて知見を蓄積した上で、今後の重点計画のあり方を検討する。

[評価の視点]

- 重点目標を確実に達成するための仕組みは如何にあるべきか
- 効率的な計画策定の運び方は如何にあるべきか